



平成28年1月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年6月8日

上場会社名 株式会社きんえい 上場取引所 東
 コード番号 9636 URL http://www.kin-ei.co.jp
 代表者 (役職名)取締役社長 (氏名)丸山 隆司
 問合せ先責任者 (役職名)取締役経理部長 (氏名)好井 裕一 (TEL)06(6632)4553
 四半期報告書提出予定日 平成27年6月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

1. 平成28年1月期第1四半期の業績(平成27年2月1日～平成27年4月30日) (百万円未満切捨て)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年1月期第1四半期	795	△5.2	40	△7.2	41	△29.2	21	△18.5
27年1月期第1四半期	838	5.5	43	38.9	58	109.4	26	75.4

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年1月期第1四半期	7.77	—
27年1月期第1四半期	9.54	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年1月期第1四半期	4,876	1,693	34.7
27年1月期	4,981	1,698	34.1

(参考) 自己資本 28年1月期第1四半期 1,693百万円 27年1月期 1,698百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年1月期	—	0.00	—	10.00	10.00
28年1月期	—				
28年1月期(予想)		0.00	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年1月期の業績予想(平成27年2月1日～平成28年1月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,580	△5.4	40	△54.7	40	△60.9	20	△61.5	7.17
通期	3,280	0.3	150	△0.6	150	△8.8	80	1.5	28.67

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

28年1月期1Q	2,821,000株	27年1月期	2,821,000株
28年1月期1Q	31,054株	27年1月期	30,972株
28年1月期1Q	2,789,967株	27年1月期1Q	2,790,148株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、株高等による消費マインドの改善を背景に個人消費が回復しつつあり、また円安や原油安等の影響で企業部門の業績も上向き、緩やかな回復基調で推移しました。

この間当社におきましては、事業全般に亘る顧客満足度のより高いサービスの提供と部門別業績管理の徹底をさらに推進し、集客と収入の確保に努めました。

各セグメントの状況は次のとおりであります。

シネマ・アミューズメント事業におきましては、“ドラえもん”“暗殺教室”“イントゥ・ザ・ウッズ”“名探偵コナン”などの話題作を上映するとともに、引き続き「アポロシネマメンバーズ」の会員獲得による販売促進活動を積極的に推し進めました。しかし、前年同期には”アナと雪の女王”が記録的な大ヒットとなったこともあり、収入合計は、358,843千円（前年同期比9.6%減）となり、営業原価控除後のセグメント利益におきましても2,269千円（前年同期比85.9%減）となりました。

不動産事業におきましては、前々年度にルシアビル事務所テナントにおきまして大型の退去がありましたが、後継テナントの積極的な誘致活動を進めた結果、このセグメント全体の収入合計は436,713千円（前年同期比1.2%減）となり、物件費等の費用節減に務めた結果、セグメント利益につきましては、104,592千円（前年同期比2.9%増）となりました。

以上の結果、当第1四半期累計期間の売上高合計は、795,556千円（前年同期比5.2%減）となり、費用面におきましても、部門別業績管理の徹底により、諸経費全般に亘って鋭意削減に努めました結果、営業利益は40,008千円（前年同期比7.2%減）となり、経常利益は41,072千円（前年同期比29.2%減）、四半期純利益は21,676千円（前年同期比18.5%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間における総資産は、短期貸付金の減少等により前期末に比較して105,060千円減少し、4,876,374千円となりました。負債は、借入金の返済等により、前期末に比較して100,598千円減少し、3,182,779千円となりました。また、純資産は、配当金の支払い等により利益剰余金が減少したため、前期末に比較して4,462千円減少し、1,693,594千円となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年1月期の業績予想につきましては、平成27年3月12日に「平成27年1月期決算短信（非連結）」にて公表した業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年1月31日)	当第1四半期会計期間 (平成27年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	88,170	102,475
売掛金	106,610	111,540
商品	3,641	4,672
その他	439,567	349,794
流動資産合計	637,989	568,483
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	2,106,872	2,158,659
機械及び装置(純額)	57,579	54,855
工具、器具及び備品(純額)	70,972	78,633
土地	1,123,748	1,123,748
有形固定資産合計	3,359,172	3,415,897
無形固定資産	47,885	43,705
投資その他の資産		
差入保証金	892,132	799,785
その他	44,255	48,503
投資その他の資産合計	936,388	848,289
固定資産合計	4,343,445	4,307,891
資産合計	4,981,435	4,876,374
負債の部		
流動負債		
買掛金	108,800	115,153
短期借入金	150,000	430,000
1年内返済予定の長期借入金	381,920	6,920
未払法人税等	44,917	18,800
賞与引当金	10,600	23,300
その他	534,092	602,397
流動負債合計	1,230,330	1,196,570
固定負債		
長期借入金	6,580	3,120
退職給付引当金	70,936	72,199
受入保証金	1,606,046	1,551,226
資産除去債務	279,895	280,957
その他	89,589	78,707
固定負債合計	2,053,047	1,986,209
負債合計	3,283,378	3,182,779

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年1月31日)	当第1四半期会計期間 (平成27年4月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	564,200	564,200
資本剰余金	24,155	24,155
利益剰余金	1,213,687	1,207,463
自己株式	△106,256	△106,488
株主資本合計	1,695,786	1,689,330
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,269	4,264
評価・換算差額等合計	2,269	4,264
純資産合計	1,698,056	1,693,594
負債純資産合計	4,981,435	4,876,374

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成26年2月1日 至平成26年4月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成27年2月1日 至平成27年4月30日)
売上高	838,850	795,556
営業原価	721,067	688,694
営業総利益	117,782	106,862
一般管理費	74,652	66,853
営業利益	43,130	40,008
営業外収益		
受取利息	820	378
受取和解金	14,970	-
工事負担金収入	-	1,749
雑収入	2,350	478
営業外収益合計	18,142	2,606
営業外費用		
支払利息	3,221	1,538
雑支出	5	3
営業外費用合計	3,227	1,542
経常利益	58,045	41,072
特別損失		
固定資産除却損	15,170	15,658
特別損失合計	15,170	15,658
税引前四半期純利益	42,875	25,414
法人税、住民税及び事業税	26,000	18,000
法人税等調整額	△9,729	△14,262
法人税等合計	16,270	3,737
四半期純利益	26,604	21,676

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期累計期間(平成26年2月1日から平成26年4月30日まで)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	シネマ・アミューズメント事業	不動産事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	396,979	441,870	838,850	—	838,850
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	396,979	441,870	838,850	—	838,850
セグメント利益又は損失(△)	16,108	101,673	117,782	△74,652	43,130

(注) 1 セグメント利益の調整額は、主に各報告セグメントに配分していない一般管理費(全社費用)であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期累計期間(平成27年2月1日から平成27年4月30日まで)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	シネマ・アミューズメント事業	不動産事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	358,843	436,713	795,556	—	795,556
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	358,843	436,713	795,556	—	795,556
セグメント利益又は損失(△)	2,269	104,592	106,862	△66,853	40,008

(注) 1 セグメント利益の調整額は、主に各報告セグメントに配分していない一般管理費(全社費用)であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。